

ごあいさつ

ステークホルダーの皆様からの 信頼に応える企業グループを めざします

東武鉄道株式会社
取締役社長

根津 嘉澄



【はじめに】

今日、企業が持続的に発展・成長するためには「企業の社会的責任（CSR）」という視点が欠かせなくなり、社会との共生が求められております。また、地球温暖化防止や持続可能な循環型社会の構築など、環境保全是国境を超えた人類共通の課題となっております。

これらを踏まえて、当社における社会とのかかわりと環境配慮の取り組みについて、本報告書で紹介させていただきます。

東武鉄道を含む東武グループは、鉄道事業を中心に、「運輸」「レジャー」「不動産」「流通」などの各部門において、沿線地域等の皆様と長年にわたる信頼関係を構築し、各種事業のサービスを展開していくことで社会に貢献するという理念・方針のもとに、企業の社会的責任を果たしてまいりました。

【社会とのかかわり】

社会とのかかわりにつきましては、鉄道事業においては「安全」を基軸に、安心・便利で快適なサービスを提供することを社会的使命と考え、相互乗り入れによるシームレスなネットワークの効率的な運用と所要時間の短縮、バリアフリー・ユニバーサルデザイン化の推進などに努めるとともに、お客様や沿線にお住まいの皆様は鉄道を安全にご利用いただくための啓発活動を広く行っております。また、日光東照宮四百年式年大祭を記念したイベントや外国人観光客に向けた取り組みなど沿線自治体等と一体となった観光キャンペーンを展開するなど、沿線の魅力の発信に注力しております。

開発事業および東武グループ各社の事業においても、その多くが沿線地域にお住まいの皆様の日常生活をサポートすることを目的としておりますので、各事業およびグループ各社が本業を誠実に遂行していくことが、東武グループのCSRの中核をなすものと考えております。

【環境とのかかわり】

環境とのかかわりにつきましては、鉄道事業においては、マイカー等と比較するとエネルギー効率が高いという鉄道

の環境優位性を活かすべく、身近な環境対策として鉄道利用を促すことにより、社会全体の環境負荷低減への寄与をめざしております。

一方で、鉄道は環境にやさしい輸送手段であるとはいえ、多くの電力を消費することも事実であり、安全対策やバリアフリー化での機器増設などエネルギー消費量の増加が見込まれる側面もあるため、環境負荷低減策として省エネルギー性能に優れた車両の導入などの施策に取り組むなど、CO₂排出量の削減に努めております。

開発事業においては、「ソライエ清水公園アーバンパークタウン」の戸建分譲や「ソライエ柏豊四季」ほかのマンション分譲において、積極的に緑を取り入れるなど環境に配慮した取り組みを進めております。

グループ事業においては、葛生（栃木県佐野市）ほか5か所で大規模太陽光発電事業を展開しており、今後も太陽光利用をはじめとする発電事業や再生可能エネルギーの活用を通して、持続可能な社会の構築に貢献するべく、グループを挙げてさらなる事業展開を図るよう取り組んでまいります。

【東京スカイツリータウン®】

「東京スカイツリータウン」は、今年5月で3周年を迎えました。「東京スカイツリー®」は電波塔として、鉄道と同様に重要な社会インフラ機能を有していることから、その役割を50年、100年と守り続けていくことが東武グループの使命と考えております。また、「東京スカイツリータウン」において採用している地域冷暖房システムについては、国内トップレベルの省エネルギー・省CO₂を達成しております。今後も、これまで以上に環境面での運用改善を図りつつ、東武沿線全域の活性化、ひいては観光立国日本の世界的名所として、日本全体の活性化に貢献できるよう努めてまいります。

本報告書の発行を通じ、情報を積極的に開示することでステークホルダーの皆様とのコミュニケーションに努めたく、忌憚のないご意見・ご感想をいただければ幸いに存じます。